

学校評価書（令和6年度 幼教部）

令和7年1月30日

学校法人 浜松平和学園 平和こども園長 矢野尚美

学校法人 浜松平和学園 平和こども園 学校関係者評価委員長 原田 富子

1 こども園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う 					
3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果					
※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	こども園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか ・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に合わせ、保育内容を見直した。今後も子どもの発達に即した指導計画を立案していきたい。 ・夏の気温が高く、活動内容や遊び方を考える必要がある。 ・今年度より、週案に5領域のチェック欄を設け、意識しながら保育計画を立てることができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・命や安全を基盤に保育されている様子がわかる。 ・コロナ禍や定員変更など、過渡期には仕組みを考えて最善を尽くしてくれている。 ・防災宿泊訓練では自信がついた。できてよかった。 ・気候に合わせて運動会の場所を変更するなど工夫してくれている。 ・園外保育で園外に出ているときの地震の対応が気になる。
② 保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個の発達にあわせた保育に心掛けたか ・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか ・子供同士の心の通い合いを大切にできたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に援助が必要な子どもが増え、担任だけで保育をしていくことが難しい。学年ごとに数名のフリー職員を配置したり、職員全体で情報を共有したりして必要な支援ができる体制を少しずつ作ることができた。 ・園として個別に対応できること、できないことを保護者と共通理解のもと、個々にあった援助をしていきたい。療育機関や関係機関との連携も職員の負担にならないように行っていきたい。 ・基本的な生活習慣は年度当初に丁寧に見ていくことが大切である。身支度や整理整頓など継続して見ていきたい。 ・子ども同士が自然と助け合う姿が見られ、日々の保育の中で多様性を受け入れる心が育っていると感じた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の参観で、異年齢活動の機会があることがわかり良かった。 ・苦しいことも褒めてくれたので自信となっている。 ・活動が多くてものびのびバランスをとってやってきている。 ・幼教部から入る子にも慣らし保育があってもいいのではないか。
③ 教師としての資質、能力、適正について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか ・環境整備に気を配り適切に対処できたか ・係の一員として自分の力を発揮したか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から勤務体制が変わり、保育準備や行事準備など効率よく進められた事もあったが、今まで通りにできない事が多かった。 ・反省を踏まえ、効率的に進めていきたい。 ・子どもの怪我やヒヤリハットを職員間で共有し、問題点を改善し同じトラブルを未然に防ぐよう心掛けている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の挨拶が明るくてとても良い。近隣の方からも言われたことがある。 ・園全体で子どもの名前を呼んでくれるところが暖かい環境だと思う。
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか ・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から保育園部の保護者とも会う機会が増え、送迎時に個々の様子を伝えられるようになった。半面、バス送迎の子どもや保育部に弟妹がいる子どもなどでは、園の様子を伝える機会に差が出てしまうことが気になるので工夫していきたい。 ・保護者への連絡も出欠確認表に記入することで担任でなくても漏れなく伝えることができた。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・バス送迎の保護者が先生とあまり話す機会がないのが気になる。 ・夏の面談は全員だが、年度末は希望制になっている。年度末はゆっくり話す機会があるといいと思う。 ・PTAについては、働いている方が多いのであり方について考えていけたらと思う。
⑤ 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や施設を活用できたか ・地域への開放や子育てへの支援ができたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、新たに「あそぼーる」の体験と白脇小学校の「お店屋さんごっこ」に参加することができた。 ・畑を借りての栽培やれんげ畑や園周辺への園外散歩、園バスを利用している園外保育、eらっこ菜園など、子どもたちが楽しく参加しているので継続していきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に行き園庭で遊んでいると声をかけてくれる。
⑥ 研修と研究	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加し研修で得たものを保育等の実践に生かすことができたか ・園内研修に自分の考えを反映することができたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も多くの職員が様々な研修に参加した。職員会議で全体に報告する機会をもたせたことで、職員間で共有することができた。日々の保育に生かしていきたい。 ・園内研修は多くの時間を設けることができなかったため、もう少し話し合いなどを多く持ち、深めていけるといいと思う。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の自己評価は毎年厳しいと感じる。それだけ向上心を持っているのだと思う。全てを改善していくのは職員の過重になり大切な部分が疎かになってしまう心配があるので、バランスをとりながらやっていただきたい。
⑦ 外部アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、頂いた全ての意見に目を通し、保育を見直す機会になっている。すべての要望を反映することは難しいが、園全体で話し合っ、子どもが安全で安心して過ごせる園にしていきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から「園に行くのを楽しみにしている」にあてはまらない子がいたが、「親と一緒にいたい」という気持ちもあると思う。子どもにとって大切な環境のひとつが親と先生との関わりになってくるので密に連絡を取り合ってやってほしい。